

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	どちらかというと「閉鎖的」な状況にある。認知症に関する講演会や相談会の実施が少なくなっている。施設長が名東区北部いきいき支援センターや地域の自治会などに講師として出かけているが、頻度は低い。	隣接する居宅介護支援事業所と協働して、認知症介護相談会や施設見学会を、定期的実施する。	地域への施設PR～お知らせ・施設広報誌の配布。会社内部での意思統一と方法論について全職員で話し合う	3ヶ月
2	4	運営推進会議の議事録が事項書への書き込み記事のみとなっている。また、保管・閲覧可能だが職員間の意見交換の機会が「月例カンファレンス」のみに限定されている。	会議への一般職員の定期的参加。ハウス広報誌での報告。	ローテーションを組み、職員の参加を確保する。広報誌「愛だより」の再定期発行。1年間の任期を終えた「家族委員」の感想記事掲載。	6ヶ月
3	12	近年「親の介護」「寿退社」などの退職が相次いでいる。その補充として「正職・パート職員」で採用するが、適正や待遇面で折り合いが付かず、定着しない。	魅力ある職場環境の創出。	基本給・定期昇給・各種手当での増額。介護休暇、育児休暇の明文化。介護のプロとしての実力養成のための「研修・資格取得」への金銭的・職務専念義務免除などの積極的支援の実施。	9ヶ月
4	35	災害対策における地域との協力体制が整備されていない	協力体制の確立	町内会への積極的な参加～防災訓練への参加。必要とされる支援の検討。必要とされる「地域の施設としての役割」を運営推進会議に町内会役員を招き話し合う、	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。